

## 物部川地域アクションプランの進捗状況等について

H 2 5 . 8 . 3 0

物部川地域本部

## 1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

## (1) 総評

全 23 項目について、必要な情報共有や積極的な事業進捗に向けた協議など、支援チーム員と関係者が連携して取り組んでおり、全項目において概ね計画どおり進捗している。

農業分野では、天敵防除技術の導入やニラにおける栽培履歴の新記帳方法の開始、シシトウ、エメラルドメロンに関する炭酸ガス施用効果の検討など環境保全型農業の取組が順調に進捗している。また、青果出荷日本一のユズに関しては、高齢生産者の意向調査や若手生産者の意見交換会を行うなど、高齢化が進む産地を維持するための仕組みづくりを開始している。

林業分野では、素材の増産に向けて、森林経営計画策定のための地元説明会を開催しており、また、木質バイオマスボイラーの新規導入に向けた取組みを進めている。

水産業分野では、シイラの加工品について取引先と定期的に情報交換を行い、加工場の周年稼働に向けて加工量の確保と新規販路の開拓に努めている。

商工業分野では、伝統産業である土佐打刃物の魅力のPRや販路拡大、後継者育成に取り組んでいる。

観光分野では、恒例となった「岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリ」や「長宗我部フェス」等を開催したほか、土佐塩の道ウォークや御幣切り体験など物部川地域ならではの体験型観光を推進している。併せて、映画「県庁おもてなし課」のロケ地マップ（香南市夜須町手結エリア）を作成し、道の駅やす等で配布している。

## (2) 具体的な動き

## ① 地域の重点的な動き

重点的な取組	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p><b>園芸主幹品目の再構築及び強化</b></p> <p>■No. 1 南国市の園芸主幹品目シシトウの再構築（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A 南国市</li> <li>・ J A 長岡</li> <li>・ J A 十市</li> </ul>	<p>[目標（H27）]</p> <p>シシトウ販売額：10.8億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>シシトウ販売額：10.4億円</p> <p>※販売額はJAへの入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃油価格高騰緊急対策事業説明会を開催し(5/23)、2戸の</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 エメラルドメロンの販売力向上対策 (香南市)</p> <p>《事業主体》 ・ J A 土佐香美</p>	<p>農家でヒートポンプを導入する予定となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A 長岡シシトウ部会において炭酸ガス施用実証農家を決定した。</li> <li>・ 各 J A シシトウ部会の反省会において、省エネ対策、 I P M 技術、品種比較の実証結果を報告、併せて 26 園芸年度の取組について協議した。</li> <li>・ 新規栽培者に対する個別巡回及び情報収集を行い(5 回)、販売数量や決算書などの分析データを収集した。データを基に経営分析を行い、面談のうえ、26 園芸年度の目標を設定した。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>省エネ技術導入に向けた取り組み ⇒実証試験等を行い実用性について検討していく。</p> <p>増収に向けた取り組み ⇒炭酸ガス施用について実証試験を行い、効果を検討する。</p> <p>土着天敵の導入 ⇒安定した防除効果を目指して実証ほを設置し、天敵防除技術の改善を図る。</p> <p>担い手育成 ⇒経営改善計画の目標達成に向け指導していく。</p> <p>[目標 (H27) ] エメラルドメロン販売額：4.8 億円</p> <p>[H25 到達点] エメラルドメロン販売額：4.8 億円 ※販売額は J A への入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東、徳島、大阪、名古屋で試食宣伝を行った。</li> <li>・ 炭酸ガス発生装置導入農家から炭酸ガス施用実態の聞き取りを行った。</li> <li>・ 高温期に適した温度・灌水管理について現地検討会を開催した(6/4、7/25)。</li> <li>・ 黄化えそ病防除対策勉強会を開催した。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>収量品質の向上 ⇒引き続き、炭酸ガス施用実態について聞き取りを行い、改善策の提示と施用効果等の調査を行う。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.3 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市・香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・ J A 土佐香美</p>	<p>難病虫害防除対策</p> <p>⇒天敵勉強会の開催と天敵の導入の検討を行う。</p> <p>[目標 (H27) ]</p> <p>ニラ販売額：30.0 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ニラ販売額：29.0 億円</p> <p>※販売額は J A への入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土壌消毒剤によるネダニ防除対策の現地検討会を行うとともに露地品種比較実証ほ及び展示ほを設置し(3 ヶ所)、収量・品質、鮮度保持調査を行っている。</li> <li>・ 露地で軟腐病対策実証ほを設置し(5/27)、定期的に薬剤散布を行い、防除効果を調査している。</li> <li>・ 異物混入対策の目慣らし会を実施するとともに、栽培講習会を開催し(3 回)、栽培履歴の記帳及び提出、安全・安心シートによる点検を指導した。</li> <li>・ 新規就農者も参加して、ニラ生産研究会の現地検討会を開催した。</li> <li>・ 生産者や J A から提供を受けた経営状況や販売に関するデータの分析を行った。</li> <li>・ 役員会で雇用アンケート調査の分析結果を検討した。機械化について導入産地の視察調査を実施予定。</li> <li>・ 食博に点天と共同出展し(4/26～5/6)、ニラ等 J A 土佐香美園芸品の試食宣伝及び販売を行った。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>出荷量の増加及び周年安定生産</p> <p>⇒引き続き、病虫害対策及び有望品種の実証等を行うとともに調整作業労働力の確保対策を検討していく。</p> <p>新規就農者等の育成・確保</p> <p>⇒部会でのバックアップ体制の検討を行い、必要な対策を講じていく。</p> <p>部会員の経営改善の仕組み作り</p> <p>⇒規模別の課題を抽出し、経営改善の指導に取り組む。</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>ユズの総合的な産地強化</p> <p>■No. 11 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香美市</li> <li>・ J A 土佐香美</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>ユズ販売額：5 億円</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ユズ販売額：4.5 億円</p> <p>※販売額は J A への入金額</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユズ産地協議会や座談会、若手生産者との意見交換会を開催し、出荷量維持のための後継者の規模拡大及び基盤整備の導入、経営モデルの作成を決定した。</li> <li>・ ユズ産地構造改革計画の素案を作成した。</li> <li>・ こうち農業確立総合支援事業を活用して、小袋包装機とカラーリング施設を整備することとなった。</li> <li>・ 後継者不在で規模を縮小したいと考えている生産者に聞き取り調査を行い、意向を把握することができた。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>後継者の規模拡大</p> <p>⇒園地の状況や後継者がいない高齢の生産者の意向等をユズ産地構造改革計画に反映するとともに、各種支援制度の活用も検討していく。</p>
<p>地産地消・食育の推進</p> <p>■No. 4 地産地消・食育の推進（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A 南国市出資農業生産法人</li> <li>・ J A 南国市、J A 長岡、J A 十市</li> <li>・ 南国市地産地消推進協議会</li> <li>・ 農家レストランまほろば畑</li> <li>・ 南国市</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：15%</p> <p>業務筋への供給：15 事業体</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給割合金額ベース：13%</p> <p>業務筋への供給：18 事業体</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校給食への配送業務について、南国スタイル・市・市教委が現在の発注や配送ルートについて協議を行うとともに、地域食材の使用を増やすため使用推移の分析を行っている。</li> <li>・ 南国市内の 3 J A シシトウ部会役員会で農家レストランまほろば畑との連携について協力を依頼した(8/20)。</li> <li>・ 農家レストランまほろば畑が来店者 2 万人を達成した(6/11)。(4/2～8/27 の来店者数 平均 181 人/日)</li> </ul>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA長岡</p>	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>配送ルートの見直し</p> <p>⇒配送ルートの可視化や受注方法の検討等を行い、配送効率の向上に努める。</p> <p>JAとの連携強化</p> <p>⇒JAと情報共有を行い、農家レストランまほろば畑への食材供給の方法等について検討を行う。</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>直販所等の売上額:100,000千円</p> <p>直販所等の雇用者数:8人</p> <p>ながおか温泉入場者数:19万人</p> <p>[H25到達点]</p> <p>直販所等の売上額:33,000千円</p> <p>直販所等の雇用者数:3人</p> <p>ながおか温泉入場者数:16万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月16日付けで産振補助金の交付決定を受け、飲食店工事に着手するとともに、直販所建築に係る開発許可申請書を提出した。</li> <li>・運営会議を開催し、生産体制や商品開発、組織体制等について検討を行っている。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>事業の年度内完了</p> <p>⇒進捗管理を行うとともに、必要な支援を行っていく。</p>
<p>■No.6 地域農産物を活用した直販所「ひかり市」の施設拡充(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA十市</p>	<p>[目標(H27)]</p> <p>直販所の営業日数:週6日</p> <p>直販所への出店者数:100人</p> <p>直販所売上額:50,000千円</p> <p>直販所スタッフ雇用(新規):3名</p> <p>[H25到達点]</p> <p>直販所の営業日数:週6日</p> <p>直販所への出店者数:90人</p> <p>直販所売上額:34,500千円</p> <p>直販所スタッフ雇用(新規):5名</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販所会員との意見交換会を開催した(5/20)。</li> <li>・営業時間を17:00までに延長した(6/13～)。</li> <li>・店頭で鮮魚や花苗の販売を開始した(6/15～、6/20～)。</li> <li>・運営会議を開催し、今後の改善策の検討を行った(8/7)。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>商品の充実 ⇒出荷会員の増による直販部門の強化を図るとともに、米粉パンの製造技術の向上及び商品の磨き上げを行う。</p>
<p><b>豊富な地域資源を活用した1.5次産業化の推進</b></p> <p>■No.7 地域の特産品づくり～農産物加工への取組～(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんこく空の駅推進協議会、西島園芸団地など既存企業、組織、グループ</li> <li>・新しい組織、グループ</li> <li>・J A南国市出資農業生産法人</li> <li>・南国市商工会</li> <li>・南国市観光協会</li> </ul> <p>■No.8 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごめんシャモ研究会</li> <li>・南国市商工会</li> <li>・南国市</li> </ul>	<p>[目標(H27)]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規): 10組織・団体 開発商品売上額: 1,000万円(40品目)</p> <p>[H25到達点]</p> <p>地域産品を活用した新しい組織・グループ設立数(新規): 8組織・団体 開発商品売上額: 1,900万円(24品目)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域特産品等研究開発事業(南国市)を活用して、4団体4品の商品開発が開始した。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>特産品づくりのプレイヤーの発掘・育成 ⇒地域特産品等研究開発事業及び実践型地域雇用創造推進事業(厚生労働省)等を活用して発掘・育成に取り組む。</p> <p>[目標(H27)]</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数: 18店舗 シャモ目標飼育羽数: 3,000羽 ごめんケンカシャモを使った加工品数: 3品</p> <p>[H25到達点]</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数: 18店舗 シャモ目標飼育羽数: 1,500羽 ごめんケンカシャモを使った加工品数: 1品</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 香美市ブランドの確立・特産品づくり (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市観光協会</li> <li>・食品加工グループ</li> </ul> <p>■No. 15 シイラ等の加工商材活用 (香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県漁協手結支所</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐の食1グランプリで優勝したシャモスキヤキを社中12店舗で提供しており、シャモスキヤキセットを商品化し、販売を行っている。</li> <li>・新商品の試作を行った。</li> <li>・直営鶏舎整備計画の検討を行っている。</li> <li>・商談会等に参加するとともに、契約飼育についての協議を行っている。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>在庫品の販売</p> <p>⇒フェアやイベント、商談会等の機会を活用して販売拡大・販路開拓に取り組んでいく。</p> <p>シャモの安定的な生育体制の整備</p> <p>⇒関係機関と連携を図り、生産体制の整備を行なっていく。</p> <p>[目標 (H27) ]</p> <p>開発商品売上額：6,300千円 (20品目)</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>開発商品売上額：5,700千円 (16品目)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人香美市観光協会が中心となり、香美市内外で開催されるイベントに参加し、シカ商品やユズ加工品を販売し、特産品のPRを行っている。</li> <li>・食品加工グループが農業創造セミナーに参加し、新たな取り組みについて検討を始めた。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>商品の販売促進及び販路開拓</p> <p>⇒イベント等に参加し、特産品の販売及びPRを行っている。</p> <p>[目標 (H27) ]</p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700万円</p> <p>衛生管理の認証：県版HACCPの取得</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>シイラ加工事業の販売金額：700万円</p> <p>衛生管理の認証：-</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存取引先と定期的に情報交換を行い(2回/週)、販売先を確保している。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>加工場の周年稼働に向けた加工量の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒既存取引先との連携を強化するとともに、新規販売先を開拓していく。</li> </ul> <p>衛生管理の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒自主マニュアルを徹底していく。</li> </ul>
<p><b>地域に育つ県産材の有効活用</b></p> <p>■No. 13 民有林における素材の増産(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各森林組合</li> <li>・林業事業体等</li> </ul> <p>■No. 14 木質バイオマスの活用に向けての取組(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市</li> <li>・香南市</li> <li>・香美市</li> </ul>	<p>[目標(H27)]</p> <p>「森の工場」整備済面積: 15,459ha          素材生産量(民有林のみ): 47,500 m<sup>3</sup></p> <p>[H25 到達点]</p> <p>「森の工場」整備済面積: 18,127ha          素材生産量(民有林のみ): 30,600 m<sup>3</sup></p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度の素材増産のための森林整備事業について森林組合及び林業事業体への説明会を行った(3回)。</li> <li>・香美地方部会を開催し、森林整備や素材増産に向けた協議を行った(5/9)。</li> <li>・香美市物部町庄谷相地区で森林経営計画が認定された(6/7)。</li> <li>・森林経営計画策定に向け、南国市及び香南市の2地区において、地元説明会を行った。(7/6、8/6)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>森林経営計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒労働力の確保や機械装備などの課題に留意して、森林経営計画を策定していく。</li> </ul> <p>[目標(H27)]</p> <p>ペレット利用量: 1,230 t          排出量取引: 1,500 t-co<sub>2</sub></p> <p>[H25 到達点]</p> <p>ペレット利用量: 517 t          排出量取引: -</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A 南国市</li> <li>・ J A 長岡</li> <li>・ J A 十市</li> <li>・ J A 土佐香美</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市と南国市内3 J A とペレットボイラー導入に向けた打ち合わせを行った(5/9、5/30)。</li> <li>・現地見積会を7カ所合同で実施した(5/15)。</li> <li>・南国市における木質バイオマスボイラー導入に係る地域事業評価委員会を設置した(6/27)。</li> <li>・同委員会を開催し、導入箇所(3箇所)を選定した。(7/10)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>補助事業等の活用</p> <p>⇒早期のペレットボイラー導入に向け、事業計画作成の支援を行う。</p>
<p><b>歴史と伝統ある地場産業の振興</b></p> <p>■No. 19 地場産業(土佐打刃物、フラフ)の振興(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県土佐刃物連合協同組合</li> <li>・香美市商工会</li> <li>・フラフ製造業者</li> <li>・香美市観光協会</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>刃物製造業者数：現状維持</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>刃物製造業者数：現状維持(後継者育成モデルプランの活用)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あかめナイフの販売を開始した(5/23)。</li> <li>・積丹ソーラン味覚まつりで土佐打刃物の展示販売を行った(6/30)。</li> <li>・ゑびす昭和横丁のイベントで土佐打刃物及びフラフのPRを行う予定(9/21、9/22)。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>土佐打刃物後継者育成</p> <p>⇒「土佐打刃物製造業の後継者育成に向けたモデルプラン」について関係機関で引き続き協議を行っていく。</p>
<p><b>体験型観光商品の充実及び広域観光の取組の推進</b></p> <p>■No. 20 観光事業から観光産業へ～観光産業の振興～(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市観光協会</li> <li>・市内各観光に関わる企業・団体・グループ</li> </ul>	<p>[目標 (H27) ]</p> <p>観光協会の会員数：150</p> <p>一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織</p> <p>主要4観光施設※の入り込み数：500,000人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>観光協会の会員数：85</p> <p>一般社団法人数(観光協会の法人化)：1組織</p> <p>主要4観光施設※の入り込み数：517,000人</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香南市観光協会</li> <li>・地域の体験メニュー等提供団体</li> </ul> <p>■No. 22 「森の駅」を中心とした体験型観光の推進（香美市）</p>	<p>※県立歴史民俗資料館、西島園芸団地、パシフィックゴルフ（以上、来場者）、道の駅南国風良里（ショップ、直販所のレジ通過人数）</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市観光協会が一般社団法人化した(4/1)。</li> <li>・岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリを開催した(4/7)。</li> <li>・第1回ごめんな祭を開催した(5/12)。</li> <li>・長宗我部フェスを開催した(5/18)。</li> <li>・土佐のまほろば祭り(8/3)、岡豊山の夏祭り(8/18)を開催した。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>体験型観光の推進 ⇒コンテンツの創出、磨き上げ、育成、ネットワーク化に取り組んでいく。</p> <p>[目標（H27）]</p> <p>年間プロモーション活動：年6回以上（年のべ50社以上） 主催旅行の開催：10コース・募集200人以上</p> <p>[H25到達点]</p> <p>年間プロモーション活動：年6回以上（年のべ50社以上） 主催旅行の開催：10コース・募集200人以上</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐史跡めぐり～戦国の香美・香南を訪ねる～ツアーを実施した（5/25・29名参加）。</li> <li>・映画「県庁おもてなし課」ロケ地案内マップを作成し、道の駅やす等で配布している。</li> <li>・第2回土佐塩の道トレイルランニングレース（12/1開催）の参加人数を拡大し、9月から募集を開始する予定。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>旅行企画の多様化 ⇒地域素材を活用し、多様化に取り組んでいく。</p> <p>[目標（H27）]</p> <p>体験プログラム数：20プログラム 体験プログラム受け入れ人数：500人</p>

重点的な取組	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市</li> <li>・香美市観光協会</li> <li>・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体</li> </ul> <p>■No. 23 広域観光の取組の推進(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会</li> </ul>	<p>[H25 到達点]</p> <p>体験プログラム数：16プログラム  体験プログラム受け入れ人数：400人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・べふ峡温泉でピザ焼き体験、御幣切り体験、いざなぎ流舞神楽の観賞・体験を行った。</li> <li>・香美市三大祭り(川上様夏祭り、土佐山田まつり、奥物部湖水祭)等会場で体験型観光のPRを行った。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>体験メニューの充実  ⇒地域と香美市観光協会が連携し、新たな体験プログラムの造成や参加者の受け入れ体制の整備を図る。</p> <p>[目標 (H27) ]</p> <p>観光客入り込み数：80万人</p> <p>[H25 到達点]</p> <p>観光客入り込み数：65万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知中央広域観光協議会設立総会を開催し、同協議会が発足した。併せて平成25年度事業計画及び予算を決定した(5/16)。</li> <li>・とさ旅セミナーに参加した(6/13)。</li> <li>・実務担当者会を開催した(6/11、7/9、8/21)。</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>広域観光の戦略検討  ⇒定期的に実務担当者会等を開催し、4市の方向性を調整していく。</p>

②上記以外で特記すべき取組

特になし

2 平成 25 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No.5 直販所「あけぼの市」の機能強化による農家の所得向上及び交流人口の拡大（南国市）</p>	<p>・国道 195 号通称「あけぼの街道」の全線開通を好機ととらえ、直販所・加工所を本線沿いに移転拡充して地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売を行い、地域農業者の所得向上を図るとともに、隣接する「ながおか温泉」への誘客を促進し、交流人口の拡大につなげる。</p>	<p>124,928(50,000)</p>

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加]

■還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化（南国市）

4 県民参画に向けた取組

- ・香南市西川地区集落活動センター推進協議会役員会(5/2)及び全体会(5/8)で産業振興計画シンポジウムのPR
- ・香美・香南地区農業振興連絡協議会総会で第2期産業振興計画 ver2 及び産業振興計画シンポジウムについて説明及びPR(4/23)
- ・三水会※において、移住促進策について説明(5/15)
- ・香美(5/23)・香南(5/27)の各市商工会総会で、第2期産業振興計画 ver2 及び土佐MBAについて説明及びPR

※香美市の官公署、公共的団体、会社等の代表者等で構成される、親睦及び産業文化の向上発展への寄与を目的とする団体

5 相談案件：2件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/14	農業	南国市内の農業者の所得向上につなげるため、還元水を活用した野菜の実証栽培試験をしたい。
2	6/19	農業	トマトを生産している事業者が、南国市と香南市を中心に、トマトとワイン用のブドウを栽培してもらえる農業者を探している。

有望素材シート（25年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	南国市	素材名	還元水、高知野菜
		関連素材	

現状・課題	<p>&lt;現状&gt;                  南国スタイルでは（株）日本トリムの開発した「還元野菜整水器」によって生成された水を農業生産に活用するために、平成23年6月より葉菜類中心に試験栽培を行ってきている。整水器を利用することで生育促進効果など生産面で違いが現れてきている。平成24年度には高知県農業技術センターでピーマンの育苗試験、高知大農学部ではホウレンソウ・カイワレダイコンの発芽試験等を行った結果、数値としても明らかに生育促進効果があることが判明した。</p> <p>&lt;課題&gt;                  ・還元水を活用した栽培技術の確立が必要。                  ・品目毎の実証試験と分析、試験データの蓄積が必要。</p>
	<p>今後の方向性</p> <p>還元水を活用した栽培技術を確認し「還元野菜」としてのブランド化を図り、農業者の所得向上につなげる。</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化
	関係市町村名	南国市

事業の概要	還元水を活用した栽培技術を確認し「還元野菜」としてのブランド化を図る。 ・実証圃場の整備を行い、実証栽培及び栽培技術のマニュアル化を行う。 ・「還元野菜」の試験販売、販路開拓を行う。 ・「還元野菜」の成分分析とメカニズムを解明し、機能性を検証する。					
事業主体等	【事業主体】 農業生産法人株式会社南国スタイル、株式会社トリムエレクトリックマシナリー、高知大学 【関係機関】 南国市農業協同組合、高知県中央東農業振興センター					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H25】	1年後【H26】	2年後【H27】	3年後【H28】	4年後【H29以降】
	「還元野菜」の生産・栽培技術の確立	・実証圃場の整備（ハウス建設等） ・品目選定 ・実証栽培 ・栽培技術の蓄積、確立	・還元野菜の生産 ・実証圃場の整備（ハウス建設等） ・品目選定 ・実証栽培 ・栽培技術の蓄積、確立	・還元野菜の生産 ・栽培技術の蓄積、確立 ・栽培技術のマニュアル化	・還元野菜の生産 ・栽培技術の蓄積、確立 ・栽培技術のマニュアル化	・還元野菜の生産 ・栽培技術の蓄積、確立 ・栽培技術のマニュアル化
	「還元野菜」の販路開拓	・直接販売、料理教室への提供、商談会等出展	・直接販売、料理教室への提供、商談会等出展	・直接販売、料理教室への提供、商談会等出展	・直接販売、料理教室への提供、商談会等出展	・直接販売、料理教室への提供、商談会等出展
	「還元野菜」の機能性の検証	・試験品目の成分分析 ・メカニズムの解明	・試験品目の成分分析 ・メカニズムの解明	・試験品目の成分分析 ・メカニズムの解明 ・機能性の検証	・試験品目の成分分析 ・メカニズムの解明 ・機能性の検証	・試験品目の成分分析 ・メカニズムの解明 ・機能性の検証
指標・目標	項目	事業実施【H25】	1年後【H26】	2年後【H27】	3年後【H28】	4年後【H29以降】
	栽培技術のマニュアル化できた品目数	0品目	7品目	10品目	11品目	12品目
	「還元野菜」の販売先数	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所	5箇所
	機能性に基づく差別化ができた品目数	0	2	3	3	3
	【設定根拠】	【推計の考え方】 平成25年度は実証栽培・栽培技術の蓄積を行うとともに試験販売にて販路開拓を図る。翌年度以降は、栽培方法の確立、マニュアル化できたものから順次販路拡大を図っていく。また、並行して機能性の検証も行っていく。				
		【考え方】				

総事業費等	総事業費	20,000千円	(うち25年度 20,000千円)		
	(内訳 国： 県： 市町村： 其他：)		6,666,000	6,666,000	6,668,000
備考	想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）	国： 県：高知県新規就農受入体制整備事業費補助金 人的支援：			
	その他：				

## 追加項目(案)

### 【物部川地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
<p>還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化</p> <p>◀南国市▶</p>	<p>還元水を活用した栽培技術を確立し、「還元野菜」としてのブランド化を図るとともに成分分析をし、機能性の検証を行う。</p>	<p>農業生産法人(株)南国スタイル</p> <p>(株)トリムエレクトリックマシナリー</p> <p>高知大学</p>			<p>◆「還元野菜」の生産・栽培技術の確立</p> <p>◆「還元野菜」の販路開拓</p> <p>◆「還元野菜」の機能性の検証</p>

第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
	<p>「還元野菜」の生産・栽培技術の確立</p> <p>実証圃場の整備、品目選定、実証栽培</p> <p>還元野菜の生産</p> <p>栽培技術の蓄積、確立</p>		栽培技術のマニュアル化	<p>栽培技術のマニュアル化ができた品目数</p> <p>(H25 0品目)</p>	10品目	
	<p>「還元野菜」の販路開拓</p> <p>直接販売、料理教室への提供、商談会等出展</p>			<p>「還元野菜」の販売先数</p> <p>(H25 1箇所)</p>	3箇所	
	<p>「還元野菜」の機能性の検証</p> <p>「還元野菜」の成分分析およびメカニズムの解明</p>		機能性の検証	<p>機能性に基づく差別化ができた品目数</p> <p>(H25 0)</p>	3	